

有事における国民的危機への対応に関する提言

～新型コロナウイルスパンデミックの反省を踏まえて～



国民生活産業・消費者団体連合会

2022年12月

有事における国民的危機への対応に関する提言

～新型コロナウイルスパンデミックの反省を踏まえて～

生団連では、2020年7月より新型コロナウイルス感染症の拡大を、国民の生活・生命を守る上で最大の脅威と捉え最重点課題に位置付け提言の実施など活動を行ってきた。しかしながら、パンデミック下で混乱する国家の姿とそれに翻弄される経済や国民生活を目の当たりにし、改めてこの国は有事に脆弱な体制であることに危機感を覚えた。そして2022年4月、新型コロナウイルスも含みつつその他、以降で発生が想定される災害等あらゆる有事を想定した組織がこの国には不可欠であるとして「有事における国民的危機への対応」を最重点課題に再設定し、活動を深化させてきた次第である。

政府の動きとしては、本年9月2日に内閣府より「新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に備えるための対応具体策」がまとめられ、この内容に沿って関連法整備に向かっている状況にある。これらの動きは2020年のパンデミック開始から場当たりのようになってしまっていた諸対応について、今後発生しうる感染症危機については一定の成果を示すものと期待している。しかしながら、この中で議論されている内容についてはこのコロナ禍における応急処置的な内容が中心となっており、根本原因の深堀やそこに対する施策が見られない。そこで生団連としては、**わが国にて発生が想定される幅広い有事から国民生活を守るため、コロナ禍にて露呈したわが国が抱える問題点について恒久的対策を主軸とし、以下のとおり提言する。**

様々な有事に対応する司令塔機能の設置および平時からの備えを求む

- (1) 感染症のみならず想定される様々な有事を対象とした対策組織の設置**
- (2) 迅速かつ正確な情報収集・分析・議論を可能とし、一元化するための法制面の整備を含む
平時からの備えと体制強化**

様々な有事に対応する司令塔機能の設置および平時からの備えを求む

生団連では、2020年に「国家感染症対策センター（仮称）」の設立を提言しており、現在新設が進められる「内閣感染症危機管理統括庁」は国民の一定の利益に資すると考える。しかしながら一方で、パンデミックから3年が経ち、世界情勢の大きな変化や、世界の中でも災害大国とよばれるわが国の現状を鑑みれば、感染症だけに特化せず大規模災害や外交安全保障上の有事を想定し、国民の生活・生命を守るための司令塔機能組織の設置が必須であると考えられる。また、その中ではただ箱を作るだけに終わらずにその機能を発揮するための具体的ポイントとして下記2点を要望する。

（1）感染症のみならず想定される様々な有事を対象とした対策組織の設置

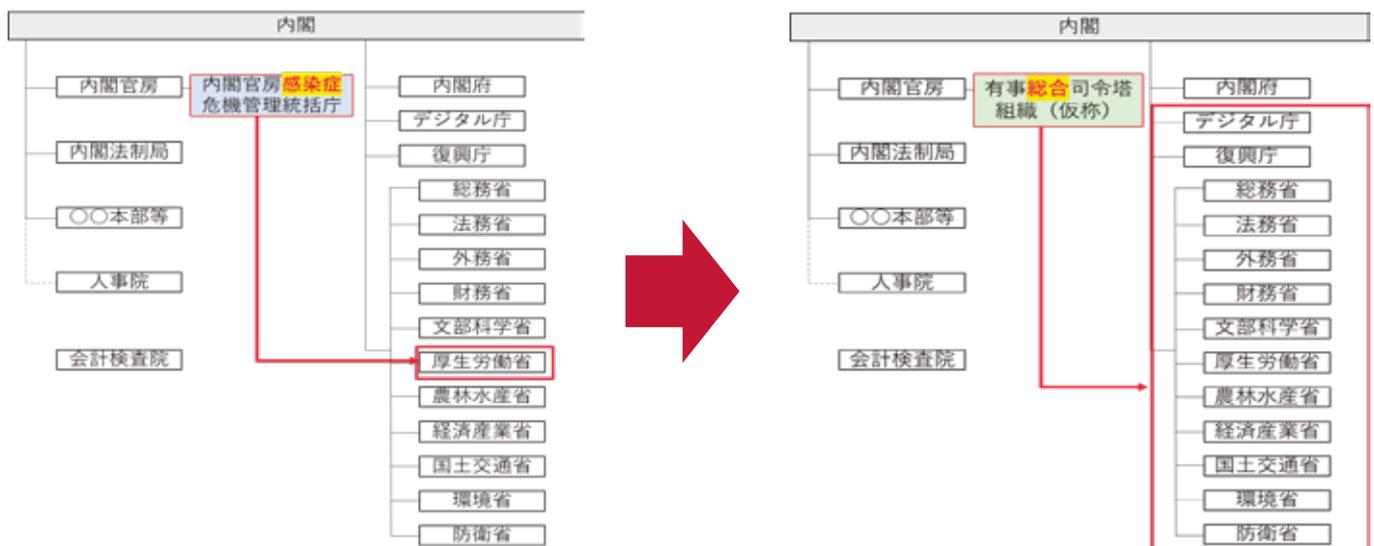
コロナ禍においては、我が国で起こりうるリスクの事前予測（リスクアセスメント）とその対策の不足が露呈した。この反省を活かすべく、感染症に特化せずわが国に起こりうる有事を事前に想定し、とるべき対策を議論し備える平時からの備え、そして過去の反省を踏まえた体制の整備を行うための議論が必要不可欠である。そうした役割をもってこそ、司令塔組織は機能すると考える。

過去には阪神・淡路大震災の後、そして福島第一原発事故の後にも、日本版 FEMA（Federal Emergency Management Agency：連邦緊急事態管理庁）の設置を求める声が上がった。共通して言えることは、根本的には有事の際のリーダーシップを求める内容であったということである。こうしたことから、**感染症に特化することなく、幅広い有事に対応できる司令塔組織の設立が急務**である。海外事例をただ真似た組織の可否を議論するのではなく、わが国において想定される様々な有事に迅速に対応し国民を守ることを一番の目的に、わが国にふさわしい組織を議論し設立することが重要である。

海外の危機管理組織の概要に目を向けるとアメリカの FEMA 以外にもイギリスの内閣府 CCS やドイツの BBK、フランスの内務省 DSC、韓国の安全行政部 NEMA 等が挙げられ平時・非常時の権限や対応が細かく決められておりパンデミックのみならず幅広い有事への対応が可能となっている。

現在新設が進められる「内閣感染症危機管理統括庁」では、厚生労働省との連携によるスピーディーな対応の検討がなされているが、感染症以外の災害などといった有事発生の際にも同様の動きが出来る組織が必要と考えた際に、同様の役割をもつ専用組織を新たに設置するより、**今からあらゆる有事を想定し全ての省庁へ連携できる司令塔組織とすべきである。**【図-1 参照】

【図-1】

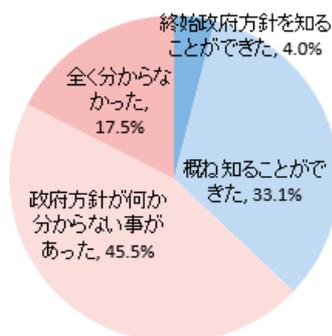


国民への情報発信についても課題があった。コロナ禍においては政府関係者からだけでも同日に複数名がそれぞれの会見で発信や意見を述べるシーンが見受けられた。生団連実施のアンケート回答【図-2 参照】において、「**政府の方針が分からない事があった**」、もしくは「**全く分からなかった**」といった回答が 63.0%にも及んでいる。

【図-2】

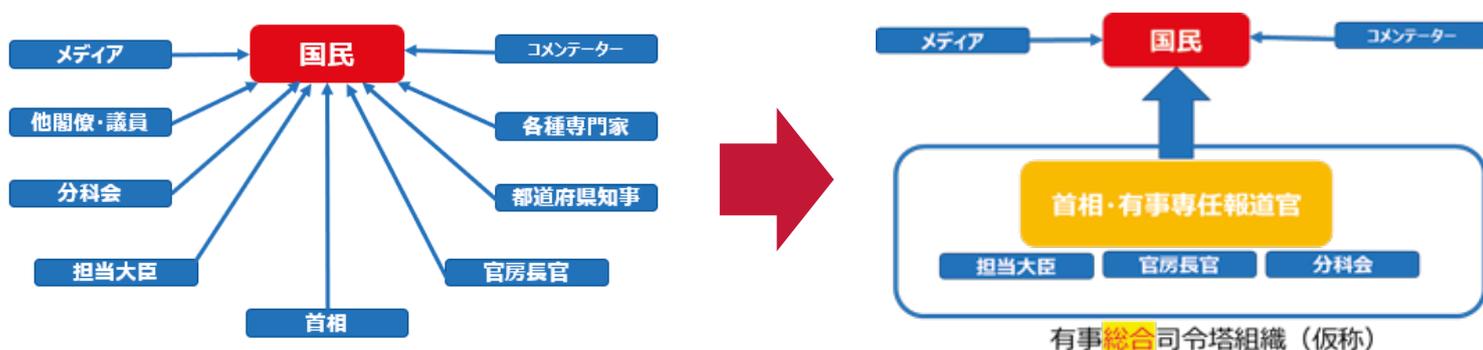
政府のコロナ対策に関する方針はどういったものが出されているか、様々な関係者が発言する等により声が埋もれてしまい、国民には今現在の政府の方針が分からなくなってしまっているのではないかと指摘がありました。実際に皆様から見て、どのように感じられましたか？

* 方針の内容の評価ではなく、あくまで情報発信方法についてお答えください
(N=2000)



有事における政府方針の発表については首相を専任者とする。または内閣官房より専任報道官を1名充てる。こうすることで散発的であった**国民への情報発信を一元化し、定期的な情報発信につなげる**。これにより国民を様々な情報の混乱から守り、**国民からの信頼を得る司令塔組織**となると考える。【図-3 参照】

【図-3】



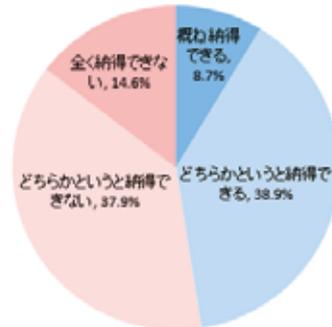
(2) 迅速かつ正確な情報収集・分析・議論を可能とし、一元化するための法制面の整備を含む 平時からの備えと体制強化

コロナ禍において政府は情報収集・分析・議論のプロセス開示がなく、決定事項に対する国民の理解が得られていないと考える。生団連にて11月に独自に行ったアンケートの回答でも、未知のウイルスへの対応として政府に対して労う意見も多くあるものの、やはり決定の背景が分かりにくく納得しがたいとする意見が散見され、半数の国民の納得感も得られていなかったことが明らかになった。【図-4 参照】

従って、幅広い有事に対応する司令塔組織においては、**意思決定に際しての科学的データに基づく明確な数値指標の設定**と、その**指標に基づき決定プロセスを開示した明確な説明が必須**であると考えます。

【図-4】

政府のコロナ対応についての各決定については納得できる内容でしたか？
(N=2000)



また、地域関係機関との連携の不足および行政権限の不明瞭さが挙げられる。情報の集約という面1つとっても、各都道府県で情報の吸い上げスピードさらには方法が異なり、全国単位でのタイムリーな情報把握が遅れた。それは全体の方針策定のスピードにも影響を及ぼすものであった。

政府として、2022年9月に「新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に備えるための対応の具体策」が示され、その中では、「地域における関係者間の連携強化と行政権限の見直し」が組み込まれているが、この考え方は感染症に特化したものではなく、あらゆる有事の際に必要な対応である。

有事発生の際に、現場の負担を減らしつつタイムリーな情報把握を可能とするデジタル化を進めるとともに、想定される有事について**具体的事象に落とし込んだ訓練を平時より各自治体や関係各所と共に行う必要がある**。そして、そこで確認された課題について、早急に修正対応できる仕組みの設置が必須であると考えます。

具体的事象に落とし込んだ訓練を行うことは、各自治体や関係各所側の有事の際の体制についても確認することができ、また課題を事前に共有し準備し有事に備える具体的な行動に移せることが期待される。

司令塔組織という箱を作るだけに終始せず、平時からパンデミック・災害・食料安全保障等の幅広い有事に対応する司令塔機能の法制面の整備を含む体制強化を求めます。

政府のコロナ対応に関する 一般生活者アンケート結果

2022年12月22日



アンケート概要

【目的】

政府のコロナ対策総評について
広く国民の意見を募り集約する

実施期間

➤ 2022年10月25日～30日

調査方法

➤ ウェブアンケート

対象

➤ 一般生活者 男女20歳以上 2,000人

回答者2,000名概要

	人数	%
男性	1000	50.0
女性	1000	50.0

	人数	%
20～29歳	214	10.7
30～39歳	374	18.7
40～49歳	485	24.3
50～59歳	565	28.3
60～69歳	274	13.7
70歳以上	88	4.4

設問

1. 政府の決定に関する説明のありかたについて

- Q1** 政府のコロナ対応についての各決定については納得できる内容でしたか？
Q2 上記の理由を具体的決定事項（緊急事態宣言・まん防、ワクチン接種の決定等）と共にお聞かせください

2. 政府の情報発信方法について

- Q3** 政府のコロナ対策に関する方針はどういったものが出されているか、様々な関係者が発言する等により声が埋もれてしまい、国民には今現在の政府の方針が分からなくなってしまっているのではないかと指摘がありました。実際に皆様から見て、どのように感じられましたか？

* 方針の内容の評価ではなく、あくまで情報発信方法についてお答えください

- Q4** 上記の理由を具体的事象と共にお聞かせください

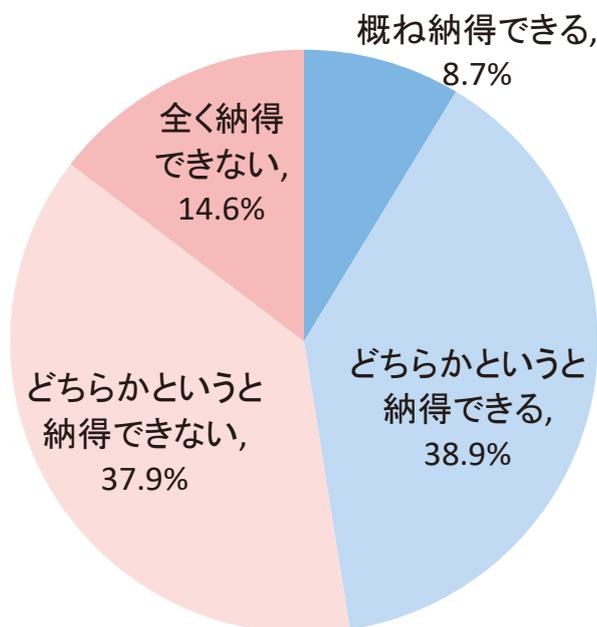
3. パンデミック開始から現在に至るまでの政府の対応の進化について

- Q5** 感染拡大の第1波から第7波に至るまでで、政府の対応は過去の反省を踏まえつつ進化を感じる内容でしたか？
Q6 上記の理由を具体的事象と共にお聞かせください

4. 評価したい政府対応について

- Q7** 政府対応について評価できる内容を、具体的事象と共にお聞かせください。

Q1 政府のコロナ対応についての各決定については納得できる内容でしたか？



Q2 Q1の理由を具体的決定事項（緊急事態宣言・まん防、ワクチン接種の決定等）と共にお聞かせください

一部抜粋

【概ね納得できる・どちらかというとなんげできる】 回答数931名

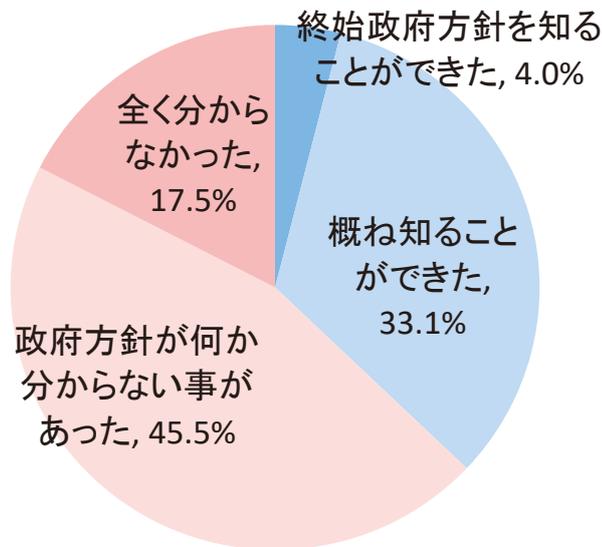
- ◆ 未経験のコロナ過、手探りで対策をしていく他なし。日本人の気質や伝統的考え方を重んじる中で、一步一步の対応を図るこれまでの経緯は、やむなしと考える。
- ◆ 前例がなくわからない中で、それなりの対策をしてくれたと思う。物資が届かなかったら、飲食店以外の補償がなかったりと不足はありました。しかし、全体で見たら色々手を出してくれたのではないかと、思いました。

【どちらかというとなんげできない・全く納得できない】 回答数1069名

- ◆ 科学的な根拠に基づいた説明がされていないから
- ◆ 全く先のことを考えていない。その場、その場の対処ばかり。何のために専門家会議があるのか。政治家は国民のことを本気で考えていないと感じる。国民の生命を守る気迫を全く感じない。
- ◆ 流行当初はわけわからんウイルスだったので、厳しい処置は仕方がないと思いましたが、未だに似たような方法を取り、お金がムダなので。

Q3 政府のコロナ対策に関する方針はどういったものが出されているか、様々な関係者が発言する等により声が埋もれてしまい、国民には今現在の政府の方針が分からなくなっているのではないかと指摘がありました。実際に皆様から見て、どのように感じられましたか？

* 方針の内容の評価ではなく、あくまで情報発信方法についてお答えください



© Seidanren

7

Q4 Q3の理由を具体的事象と共にお聞かせください

一部抜粋

【終始政府方針を知ることができた・概ね知ることができた】 回答数742名

- ◆ 政府がどうのこうのと言うより、報道機関が正確公正に報道していたので正確に知ることができた
- ◆ 窓口を一本に絞ればよいのに、諦めて朝からニュースを読み漁って情報収集したので
- ◆ さまざまなメディアを通じて、しっかりと伝えられていると思う。

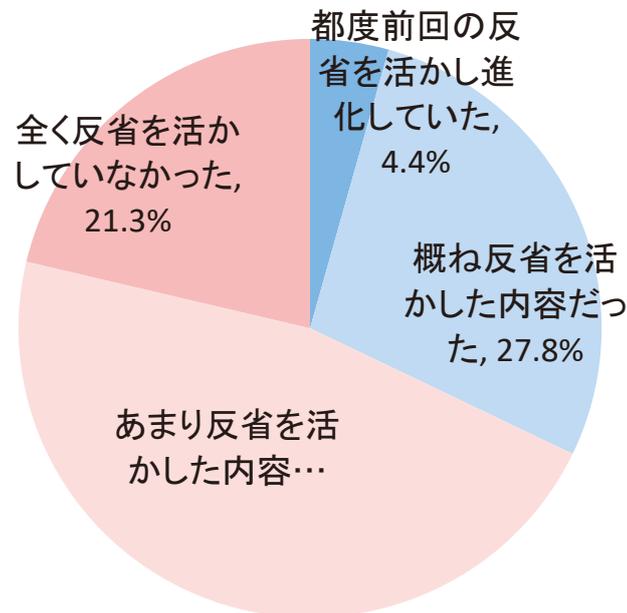
【政府方針が何か分からない事があった・全く分からなかった】 回答数1258名

- ◆ 各自治体から色々な発言もあり何が政府の対策課かわからなくなってきた
- ◆ 具体的にこうです!! とはっきり言わない。何か伝えたいならの、ポイントをまず伝えるという基本的な事が全くできていない。
- ◆ 最初の西村担当大臣の時は色々分かったが大臣が代わってから誰が責任を持って出してるのか分からなくなっている

© Seidanren

8

Q5 感染拡大の第1波から第7波に至るまで、政府の対応は過去の反省を踏まえつつ進化を感じる内容でしたか？



Q6 Q5の理由を具体的事象と共にお聞かせください

一部抜粋

【終始政府方針を知ることができた・概ね知ることができた】 回答数643名

- ◆ 感染者が増加していた中でも経済を回すことが出来るようになった
- ◆ 後手後手な感じはするが一応過去の問題点を改善しようとしている風には見える
- ◆ 過去の経験を直ぐ様生かして対応して下さったと思います。何よりもワクチンを開発して下さった方々に感謝すると共に、実際の新薬開発に伴う申請の速さに驚きました。

【政府方針が何か分からない事があった・全く分からなかった】 回答数1357名

- ◆ 連休や年末等、人の動きが多くなるのが分かっているのに政府の対応は後手後手でイライラするばかりでした
- ◆ リスクとのバランスをどう考えるのか説明が無い
- ◆ 「波が来てから、自粛要請」の繰り返しで予め対策を立てることをしていなかったと思う。
- ◆ まず、こんな対応がまずかったなどまず反省点をしめすべき。

Q7 政府対応について評価できる内容を、具体的事象と共にお聞かせください。

回答数 777名

【ワクチン対応を評価】 回答数209名

- ◆ ワクチン接種が円滑に進んでいて、感染予防を徹底した生活をしていれば感染しなくて済むと感じた。
- ◆ ワクチン接種の段取りと実行。

【給付金交付を評価】 回答数45名

- ◆ 国民への給付金は有難いと思った。
- ◆ 一番初めの10万円給付。分かりやすく、振込も早かった

【旅行支援・GOTOトラベルを評価】 回答数15名

- ◆ 例えばGoToトラベルの実施と感染拡大に伴う中止など。
- ◆ Go to travelやGo to eatなど 経済を活性化する取り組みなどで 旅先のホテルでは ほぼ無料で宿泊できた。

【その他】 回答数363名

- ◆ オンラインが進んだのは良かったことだと思う
- ◆ 概ね日本人の性格や文化にあった対応が多かったのが良かったと思う。
- ◆ 後半の水際対策。

【評価できない】 回答数96名

- ◆ 評価のしようがない、ゼロコロナでも経済最優先でもどちらでもいいので徹底すればよかった、どっちつかずの対策を繰り返した国は日本しかないと思う。

アンケートの回答詳細は下記QRコードリンクより
閲覧いただけます。



SEIDANREN
生団連

国民生活産業・消費者団体連合会